

小学6年生の女の子が遺した言葉

みんな私のことが嫌いでしたか？

小学生

中学生



いじめ予防授業

日常におこるいじめは、時に自殺にまで至ることがあります。いじめはなぜいけないのか、いじめによってどんなことが起こるのか、実際に起こった事件を交えながら話をしていきます。いじめられている人、いじめている人、それを見ている人それぞれに対してメッセージ送り、いじめを予防するための授業です。

授業の詳細

対象 : 小学生～中学生
 関連教科 : 道徳・特別活動
 授業時間 : 45分

プログラムのねらい

いじめ防止対策推進法の公布に伴い、学校は専門家である第三者と協力して対処することが義務となりました。

本授業では、弁護士が、実際に起こった事件などを話しながら、**重大な人権侵害であるいじめがなぜ許されないのか、また、いじめが起こったら生徒たちに何ができるか**を一緒に考えます。

授業の流れ

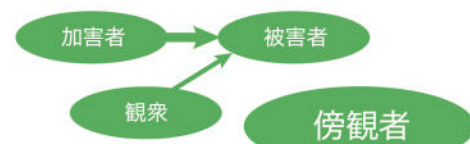
1. いじめられる側も悪いのか？

理由があればいじめは許されるのか

2. いじめはなぜ許されないのか

- ・いじめが引き起こす被害者への深刻な結果
- ・いじめの実例(自殺事案含む)
- ・加害者の心の傷

3. いじめの当事者



・いじめの当事者は加害者、被害者だけではなく、周囲も当事者であることを示し、周りの子に何ができるかを考えさせます。

- いじめ自殺等の実際の例を紹介して、いじめが絶対に許されないことを示します。
- 対象年齢に合わせて内容を変更いたします。

インターネットリテラシー

インターネットにひそむ罠

小学校
高学年

中学生

高校生



あらすじ

インターネットによるいじめ、軽はずみな投稿などの事例を紹介し、これらの事例でどのような問題が発生するかを生徒に考えてもらいます。

その上で、弁護士が、このような事例で発生する法律問題（民事責任・刑事責任）や、被害に遭った場合の救済手段などについて、解説をしていきます。

授業の詳細

対象 : 小学校高学年～高校生
 関連教科 : 社会科・道徳・国語・特別活動
 授業時間 : 50～100分(1～2コマ)
 ※プロジェクターを利用できれば尚可

プログラムのねらい

未成年者が加害者・被害者になるケースが後を絶たないインターネット。

その**特性を学ぶ**とともに、どのような事件が現実起きて、どのような法律問題が生じる可能性があるかを生徒に知ってもらい、その上で、**インターネットの使い方**を生徒に考えてもらいます。

授業の流れ

グループディスカッションや発表は、授業時間に合わせて調整していきます。

みんなで考えを出しあい、話し合うことで、自分の意見を伝える力を伸ばすきっかけにもなります。

発表の後に、解説を行う時間があります。

授業のガイダンス

事例の紹介

グループディスカッション

各事例においてどのような法律問題が発生するか、どのような救済手段をとり得るかなどについて各生徒に考えてもらう。

発表

グループごとに発表してもらう。

解説

発生する法律問題やとり得る救済手段など。